



関西広域連合

『集落の教科書』をつくろう

京都府推薦都市農村交流アドバイザー（合意形成）

高橋博樹（NPO 法人テダス 代表理事）

課題意識

移住って、「誰でもおいで」ではありません。自分に合う地域を選んで幸せな暮らしをしてほしい。逆に、地域に合わない人、いいところばかりを見て、誤解ばかりで移住してきてしまい、「思ってたんとちがう」とすぐに転出するのは、本人も地域もお互いに不幸。

また、移住してきたけど、聞く人によって言うことがちがって、ほんまのルールがよくわからん。都会と比べて、役職や地域仕事が多くて、いったいどれだけやらなあかんかわからん。という課題を解決したい。

集落の教科書とは

「集落の教科書」は、集落のルール、慣習、生活、魅力などを記した、集落で暮らすためのガイドブックです。「良いことも そうでないことも ちゃんと伝えたい」をコンセプトにし、幸せな移住を増やしたいのです。なので、景色や地域のウリやおしゃれなお店の紹介ではなく、「ちゃんと覚悟してきてね。」というメッセージとともに、必要な事や必要そうな事を選び好みせず掲載しています。

【例】

- | | | | |
|---------------|---------|----------|------------|
| ・村の憲法
（憲章） | ・組織図 | ・墓地の管理運営 | ・雪かき |
| ・家の売り買い | ・役員の決め方 | ・神社やお寺 | ・買い物 |
| ・農地の取得 | ・役員報酬 | ・情報の伝達方法 | ・病院 |
| ・農地の管理 | ・自治会費 | ・ごみ出しの仕方 | ・郷土料理 |
| ・獣害 | ・共同作業 | ・学校について | ・方言や略語 |
| ・移住後のあい
さつ | ・村の行事 | ・子育て支援 | |
| | ・村内の団体 | ・危険 | などなど 200 項 |
| | ・お葬式の習慣 | ・交通 | 目以上 |

教科書のねらい表裏

集落の教科書には表裏の目的がある。表の目的としては、移住希望者や移住者にアプローチするものです。移住希望者の不安を解消し移住への背中を押す、移住者を早く集落になじませる、地域と移住者のミスマッチ防止が挙げられます。

実際、教科書作成第 1 号（2014）の京都府南丹市中世木では、元人口（140 人）の 2 割近い 24 人が新規移住し、子どもも生まれて限界集落から脱出。その後の短期転出 0 人という実績です。

集落にとって、初期の移住者は重要です。なぜなら移住者は発信力が強く、その後の移住促進に大きな影響を与えるからです。移住者にとって、移住とは、人生を変える大きな節目であり、仕事、住まい、人間関係、あらゆるものが変わります。移住者は希望だけで

なく、不安も抱えています。だから、ちゃんと伝えようとする村の姿勢が大切なのです。

〈教科書もらった人の声〉

「移住前の不安感が減った」「教科書のおかげで質問できるようになった」「村の人が何の事を言っているのか、分かるようになった」「移住先を絞り込んでいく際の一押しになった」

裏の目的（集落住民へのアプローチ）は、より住みよい集落づくりです。ステップ1として住民全員で共通認識を持つことから始まります。教科書作成のプロセスにおいて、世代間や男女間の認識の差を埋める事ができます。ステップ2として、「集落ルールが整理・更新」されます。現在の実情に合っていない「しきたり」や形骸化したルールを改めます。逆に、今ある課題についての議論が始まり、その対策を考え始め、近隣の他地域で実施している良いルールを真似し始めます。

〈見直し事例〉

- ・川の草刈り時期を遅らせる（蛍の産卵期を避ける）
- ・空き家からも区費を徴収（一年に一度は連絡を取る機会を作る）
- ・除草剤使用に関する取り決め
- ・訃報の範囲（移住者にも届くようにする）

各集落には、その時々都合に合わせ、規範を形成しようとする機能が元来備わっています。『集落の教科書』の制作過程を通して、現状の可視化、話し合いの機会、他集落を知る機会をつくり、この規範更新機能が強化されるのです。

集落の教科書の特徴

ルールの性質をイラストで表現しています。

言葉だけでは判断しにくいニュアンスをイラストマークをつけて視覚的に表現し、すべてのルールが均質でないことを伝えています。【強いルール】【ゆるいルール】【慣例や習慣】【消えつつあるルール】

また、いつでもこの教科書の情報が更新できるように、あまり大量に印刷しないことを推奨していること。

手書きで書き込める部分などを設けて、その年の会長さんやその連絡先などを書き込めるようにしています。

まとめ

このような地域のルールをまとめた情報誌は、村の誠実な態度が試されます。それを引き出すには、誠実な会議をするために集まった村人たちのマインドセット（心構え）を整えることが重要になります。マインドセットが整う前に慌てて作り始めると、結局よい教科書はできません。実際そんな事例もあります。なので、我々は、マインドセットにじっくり時間をかけたいと思っています。

